



仙台市 連合町内会長会 だより

平成23年〈2011年〉3月

第20号

発行
仙台市連合町内会長会

〒980-8671

仙台市青葉区国分町3丁目7番1号

(仙台市市民局地域政策課内)

電話 022-214-3810

http://www.sendai-sirentyoukai.com

ごあいさつ



仙台市長
奥山 恵美子

仙台市連合町内会長会の皆様には、日頃から本市の市政運営に對し格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今、わたしたちの仙台、東北においては、未来への躍動の機運が芽生え始めております。昨年十二月には東北新幹線の青森延伸により、東北の特色ある資源や人、ビジネスなどのネットワークが強化

ごあいさつ



会長
樋口 稔夫

町内会の皆様には、日頃から地域の安全・安心で住みよいまちづくりに多大なご尽力を頂き、心から厚くお礼申し上げます。

さて、リーマンショックによる世界的な景気悪化は現在も続いており、国内では失業者数の高止まり、新卒者の就職内定率も近年にない最悪の状況など、あらゆる分野で計り知れない大きな影響が出ております。それに加え、私達町内会を取り

され、多様な可能性が開けてまいりました。本市としても、優れた頭脳や高度な都市機能を生かしていくなど、東北全体の飛躍につながる積極的な役割を果たしていくことが求められております。

ご案内のとおり、仙台市では、二十一世紀半ばを展望したまちづくりの指針となる総合計画の策定に取り組んでまいりました。今後、新総合計画のもと、「仙台総ぐるみ」で将来へと続いていく確かな都市戦略を推進してまいります。

市政を取り巻く課題は複雑・多様化し、より厳しさを増しております。しかし、この困難にひるむことなく、すべての職員が一丸となって、新しい未来を切り開いてまいります。

皆様とは、これまで以上に連携を深め、よりよい仙台のまちづくりを進めてまいりますと考えておりますので、引き続きよきパートナーとしてご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。結び、貴会のみましますのご発展と、会員皆様の今後のご健康をお祈りいたしまして、ご挨拶いたします。

巻く環境は少子高齢化による人口減少時代の到来、価値観の多様化、核家族化の進展、近隣関係の希薄化など、また最近流行の四字熟語で表わされている「無縁社会」買物離れ「限界集落」などで代表される地域環境激変による生活基盤の崩壊なども重なり、新たな重要課題が目白押しとなつて来ております。

一方、国家・地方自治体の財政難と地方分権の議論が進むなか、地域への期待も大変大きくなつて来ており、「市民協働」「共助」など、町内会等へのニーズも高く求められ、その役割も多岐・多様でますます大きなものとなつております。

さて、近年実施の「家庭こみ有料化」では、町内会の皆様の絶大なご支援・ご協力で定着化して、大きな成果が出ております。また、迫り来る宮城県沖地震等に備えた「災害時の要援護者支援の仕組みづくり」につきましては、自主防災組織等が実効性のある活動が出るよう、行政・関係団体による支援プラン検討会がスタートしたところ です。

今後とも地域の皆様と一体となつて「まちづくり」に寄与してまいりたいと考えておりますので、なお一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。終わりに、来年が皆様にとりまして飛躍の年になりますようお祈りいたしまして、ご挨拶いたします。

仙台市連合町内会長会

(略称 市連会長会)

本会は、各区連合町内会長協議会の会員で構成し、協議会相互の連携を図り、地域社会の振興・発展・市民福祉の向上と市のまちづくりに対する意見や要望を、各種審議会等に参画しています。

▼正副会長

本会の運営や行政との協議などの場として、毎月定例の会議を開催しております。

主なものとして、①災害時要援護者支援の推進や敬老乗車証制度の見直し等について行政との協議②マンション等集合住宅の町内会加入促進検討会の行政との協同推進③町内会関係について行政等の調整を行っております。

また、市等の審議会に住民代表として参画しております。



副副会長会

▼総会

六月一日、パレスへいあん会場で定期総会を開催しました。



総会

平成二十一年度事業報告及び収支決算報告をはじめ五議案満場一致で承認されました。斎藤副会長の退任に伴い若林区連合町内会長協議会の大場会長が副会長に選任されました。

▼役員会

第一回は五月二十日、開催。定期総会に諮る議案等について、第二回は十一月二十五日、開催。二十二年前期の事業進捗状況や会計収支等本会の

運営等について協議しました。



役員会

▼研修会

六月一日、定期総会に引き続き「振り込み詐欺被害防止について」・学都仙台コンソーシアムと町内会等イベントについて」をテーマに宮城県警察本部や東北大学の担当者をはじめ会員研修会を行いました。会員からは、非常に関心の高い内容で今後の取り組みに参考になった等好評でした。

役員研修会は、十一月



役員研修会

二十五日、役員会に先立ち「市民センターを活かしたまちづくりについて」と題し、仙台市市民局地域政策課長會田義克氏を招き、区役所のまちづくり拠点機能の強化に、



会員研修会

区市民センターを区役所の組織に位置づけ地域づくりを行っていく等、熱心にお話を聞いていただきました。

▼市長と懇談

六月八日、正副会長が、奥山市長を表敬訪問し定期総会への出席等に対する御礼や町内会に關しての懇談を行いました。



奥山市長と懇談

また、十月十二日、正副会長が、奥山市長を訪問し町内会活動に關連する様々な事項について意見交換を行いました。

～油断禁物！～

「電話番号が変わった」は詐欺！

「カード預かります」は詐欺！

仙台市内では、オレオレ詐欺による被害が多発しています。

手口を知っていても被害に遭ってしまうのがオレオレ詐欺。

犯人から連絡を受けたらすぐに誰かに相談することが被害防止のポイントです。

手口や防犯対策をみんなで話し合うとともに、犯人から連絡があったら誰かに相談できる環境を作り、地域や家族の絆で被害を防止しましょう。

○息子を名乗るオレオレ詐欺の手口

- ・「携帯電話の番号が変わった」と話す
- ・「会社の金を使い込んだ」と話す
- ・他人名義の口座に振り込まれる

○警察官や金融機関職員を名乗るオレオレ詐欺の手口

- ・「キャッシュカードを預かります」と話す
- ・「手続きするのので照証番号を教えてください」と話す
- ・自宅に訪問してキャッシュカードをだまし取る

★防止対策

- ・息子を名乗り「電話番号が変わった」と話したら詐欺と疑う
- ・警察官を名乗り「カードを預かります」と話したら詐欺と疑う
- ・お金を振り込む前、カードを渡す前に誰かに必ず相談する

警察相談窓口：各警察署、交番、駐在所
又は#9110(警察相談ダイヤル)

青葉区連合町内会長協議会

平成二十二年活動状況

△総会

五月二十日、伊藤青葉区長を来賓を迎え、青葉区役所で開催。平成二十一年度の事業報告・収支決算報告、平成二十二年度の事業計画案・収支予算案について原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

六月二十九日、新任町内会長五十九名と各地区の連合町内会長が参加し、青葉区役所で開催。当協議会で作成した「町内会活動の手引き」を参考に、町内会の役割や町内会に關係する諸制度について研修しました。

△連合町内会長移動研修会

十一月七日、宮城総合支所において開催。大熊副区長兼保健福祉センター所長を講師に迎え、区連協会長二十名が参加し「最近の感染症の動向について」というテーマで研修しました。

△町内会会長研修会

十二月九日、仙台市民会館において開催。宮城県警察本部の齋藤氏を講師に迎え、振

込め詐欺被害の防止についてというテーマで研修しました。

《小松島学区 町内会連合会》

地域の活性化を目指して

会長 佐藤 保四

当連合会は、東照宮の東側と北側に位置した住宅地です。連合会加盟の町内会は二十七町内会、世帯数は、五千五百世帯余りで、町名では東照宮丁目の一部、東照宮二丁目、小松島一・四丁目、高松一・三丁目、小松島新堤です。

この地域は、地区の中心部に小松島小学校、常盤台霊苑(旧陸軍墓地)がある一方、新堤、



小松島沼

与兵衛沼とその周辺には保存緑地があり、風光明媚なところだ。

また、この地域の人口は、昭和四十五年頃は一万五千人ぐらいたったが、現在では二万一千人ぐらいに減少しています。

連合会の年間行事は、学区民運動会、防災訓練・小松島福祉コミュニティまつり・研修会の開催などです。

研修会では、町内会長と地域の各種団体にも参加いただき、時節に合った講演のあと、各役職の方々と情報交換をしています。

また、平成二十年三月には、二年がかりで、小松島地区の平成風土記を発刊し、好評のうちに在庫がなくなりました。昨年は、コミュニティ助成事業に申請し、テント・拡声装置・机・イス等を購入しました。

これらを活用しながら、地域コミュニティづくりに邁進し地域の活性化を推し進めています。



防災訓練

《広瀬地区 連合町内会》

相互の知識力を結集して
より発展を!

会長 庄子 静雄

広瀬地区連合町内会は、交通の便が良く、仙台市の都心部から、電車やバス、自動車等の利用で十分アクセスがとれます。

当地区連は、郷六町内会から上原市営住宅自治会までの七つの町内会・自治会を組織し、世帯数約二千八百、人口は約七千九百人となっています。

また、平坦地が九割以上を占め、名所旧跡に恵まれているため、市民の憩いの場が多い一方、近年は、生活の場も多くなり、従来から伝承されて来た生産農家は、次第に減少し、仙台市中部や地元での勤務により、専業農家の殆どは姿を替えている状況にあります。

この地区は、秋保温泉や作並温泉、大倉定義山の名勝地へ近いだけでなく、一番山や御殿山諏訪神社、黒滝不動尊や白滝不動尊、サイカチ沼、月山池などは、ハイキングコースとしても活用されており、多くの方々に利用されています。

特に愛子から秋保温泉に至る錦ヶ丘線においては、仙台市天文台を右に登るにつれて

眺望絶景が広がります、空気が一層おいしく感じる場所です。

当地区連は、平成二十一年四月から愛子小学校の新設開校に伴って、愛子地区連と広瀬地区連に分割されましたが、田広瀬地区連ということ

で、現在も、宮城地区まつりやひとり暮らし高齢者とボランティアとの交流会等は、合同で実施しております。

今後の課題としては、旧住民と新住民の考え方の融和や住んで良かったと言われる地域の実現、環境改善への道筋の持ち方、災害発生時の対応などがあります。

「人間至る所に青山あり」で今現実に住居している場所こそお互いの幸の源であり、改善を要する所は改善し、助け合いの原則を掲げることが必要です。また、それを助長するのが班であり、会であり、連合会であり存じます。それを合言葉にして、レクリエーションや見学会、勉強会を行っており、この理念の下、一層の発展を期して全員で努力しているところでもあります。



H22.109実施の歩け歩け運動の休憩所
弥勤寺石川住職による説明を聞く

宮城野区連合町内会長協議会

平成二十二年活動状況

△総会

四月十五日、木須宮城野区長を来賓に迎え、宮城野区役所で開催。平成二十一年度の事業報告・収支決算報告、平成二十二年の事業計画案・収支予算案について原案とおり承認されました。

△新任町内会長研修会

六月十七日、新任町内会長三十四名と区連協役員が参加し、宮城野区役所で開催。

宮城県警察本部生活安全企画課岩淵副課長補佐他二名を講師に迎え、「振り込め詐欺被害の防止について」の講話を、また、「町内会活動のガイド」を説明し、町内会運営の諸問題について意見交換を行いました。

△移動町内会長研修会

八月二十四日真夏日の中、四十名が参加し、宮城野区の向田文化財整理収蔵室と七北田川津波防波堤、蒲生干潟、向洋海浜公園を見学し、キリンビール仙台工場で昼食を囲み意見交換を行いました。

《西山学区
町内会連合会》

誕生してから二十年

会長 渡谷 昭三

平成三年に仙台市立東仙台小学校のマンモス化を解消するため、東仙台、鶴ヶ谷東、鶴ヶ谷、栢江の四つの学区の一部が集まって仙台市立西山小学校が新設開校され、西山学区が生まれ二十年を迎えました。

市連長会だより第十三号（平成十五年版）にも掲載しましたが、学区内十三町内会ある中で西山学区町内会連合会に加入しているのは十町内会で、三町内会は隣接する鶴ヶ谷地区町内会連合会に加入しています。

通常は学区と町内会が一緒になって活動するのが自然な姿だった前校長先生が中に入り、一つの学区に二つの連合町内会がある不具合を説明されましたが、結局はまとま

りませんでした。

平成三年の西山小学校開校時より地域と学校が運動会を一緒（合同）にしようという提案してまいりましたが、昨年、学校よりテストケースとして実施したいと申し出があり、今年度合同で開催したところ地域から評判もよく、二十年目にして初めて地域と学校との合同大運動会が九月四日（土）に開催され、天候に恵まれ、大成功裡に終わりました。



西山小学校大運動会合同西山学区民運動まつり

《原町地区
町内会連合会》

町内会活性化へ

会長 小山 良雄

原町地区町内会連合会は十三町内会、約七千三百世帯で構成されています。

主な事業として四月には原町全町内会挙げて「原町春まつり」を行います。各町内のみこしと子供みこしを入れると約十五台で原町本通りを約千人の住民が練り歩き、一日中祭りの気分になります。

五月には体育振興会の行事が始まります。ソフトボールを皮切りに毎月バドミントン、卓球、バレーボール等を行い、最終は秋の大運動会を開催し、各町内会対抗で、いやが上にも盛り上がりそうです。かつてはドブ川とも言われた梅田川も、二十数年続けてきた毎月の清掃で、今では魚の棲む川に変わりつつあります。八月の梅田川フェスティバルには親子で八百人位参加し、魚を放流したり、水に親しむ行事で楽しんでいます。

七夕祭りの行事には、ジャズフェスティバル小規模のON祭や原町小学校の生徒と町の長老を先生にした地

元学を開校し、原町の由来や歴史を学び、昔からの神社・仏閣を見学します。昔遊びでは、こま、剣玉、ビー玉、めんこ、おはじき、お手玉、竹トンボ等々で遊びます。うまく出来た時は本当にうれしそうです。

九月には原町小学校で連合町内会と消防署、消防分団共催の防災訓練を開催し、約三百五十人の住民で、必ず来ると言われる地震に備えて真剣に取り組みしました。圧巻はヘリコプターによる救助訓練でした。また年三回位フリーマーケットを開催し、本通りでは、昔の白や杵で搗く餅つき大会も開催されます。しかし最近商店街の元気が少しなくなつたように感じています。買い物は地元商店街で地産商品の仕入れながら、町内会の活性化へと繋げられと願っております。



夏祭りの子供みこし

若林区連合町内会長協議会

平成二十二年活動状況

△総会

五月二十五日開催。平成二十一年度事業・収支決算報告、平成二十二年事業計画案・収支予算案が原案どおり承認されました。

△新任単位町内会長研修会

七月十五日、三十五名中二十五名参加。町内活動支援制度等の研修と区連協理事との意見交換を行いました。

△町内会長移動研修会

九月九日、八十四名参加。宮城県栗原市栗駒町耕英地区を訪問し、「岩手・宮城内陸地震」の現場を視察しました。現地で区長・金澤大樹さんからお話を聞き、防災意識を高める研修となりました。

《六郷地区町内会連合会》

隣保のある故郷

会長 野中 孝三

六郷地区連合町内会会は仙台4号バイパス以南より太平洋

洋。西、広瀬川名取川。北七郷地区町内会連合会と接し、面積八・八平方キロで世帯数一万七千七百、人口二万八千三百有余名が二十二年町内会を編組し「吾が故郷」「隣保」の信条で生活しています。

文教施設として仙台東高校、六郷中学校、沖野中学校、沖野小学校、沖野小学校、沖野東小学校及び保育所等があります。市民センター、コミュニティセンター、銀行等、郵便局、地域医療の病院、六郷交番並びにスーパーマーケット、生活環境は最小限であります。各町内会長は、明るく健康・安全・安心な町内会づくりのため日夜頑張っています。

当連合会には会長、副会長二名、会計、庶務を設置し、運営管理を話し、コミュニケーションを図り、自助・共助を行ってします。各町内会長は日赤奉仕団、共同募金、六郷消防団、防犯協会、社明運動、津波対策（大災害）等を分掌しています。小中学校の入学

式卒業式並びに体育文化祭等に招待されています。体育振興会主催の学区民運動会、六郷・沖野市民まつりに参画しています。平成二十二年七月に六郷中学校で開催され各町内会、各学校、各PTA、各団体から約五百名の児童、生徒及び成人が集まりました。

また東部地区津波対策連絡協議会（七郷・六郷連合町内会が主体となって結成）では十月に「津波対策シンポジウム」を七郷市民センターで開催し二百名が参集しました。

東部道路六・七美化一揆清掃活動を約五百名で九月に実施しました。

この様に当連合会では各町内会長のリーダーシップとフォローアップで隣保のある故郷づくりを精励しております。



六郷地区防災訓練

《南小泉北部連合町内会》

史跡を活かして

新しいまちづくり

会長 佐藤 いわ子

南小泉北部連合町内会には、八町内会約二千五百五十世帯で構成されております。

当連合町内会の中心部には陸奥国分寺薬師堂があり、東は宮城野森大通り、西は東街道、北は貨物駅の南側に位置しております。町内には聖ウルスラ学院英智幼稚園・聖和幼稚園の二つの幼稚園や聖ウルスラ学院英智小学校・聖和学園高等学校があり、住み良いい地域となっております。

現在、平成二十七年開業予定の地下鉄東西線の工事が進行中で、(仮称)薬師堂駅ができることにより、周辺の史跡が多々あることを活かした「新しいまちづくり」を上げ、委員会による勉強会を開いております。

六月十二日「防災の日」、若林区役所・若林消防署の指導と南小泉小学校の協力により、若林区総合防災訓練を実施いたしました。

校庭では、応急給水の取り扱い方法、濃煙体験、倒壊建物からの救出訓練、応急救護訓練（三角巾・担架）等を行い、校舎では非常食の炊き出し訓練、体育館では避難所開設訓練を行い、若林消防署から避難所の共通ルールの説明をいただきました。



若林区総合防災訓練

当日は関係団体を含め二千二百三十名余の参加があり、総合的に有益な訓練であったと思っております。

一月二十六日の「文化財防火デー」には、陸奥国分寺薬師堂を会場に、若林消防署の指導を受け、毎年消火訓練を実施しております。

また、薬師堂の境内では毎月八日、「手づくり市」を開催しております。こちらが大変好評で、大勢の方がお越しになり、まちづくりに一役かっていると思っております。

これからも各種の行事等を通し、各町内会の方々と連絡を密にし、安全・安心で明るいまちづくりに努めたいと思っております。

太白区連合町内会長協議会

平成二十二年活動状況

△総会

五月十三日、西郷太白区長を来賓に迎え開催。二十一年度事業報告・収支決算報告、二十二年事業計画案・収支予算案の議案を提出し、原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

七月一日、太白区役所五階ホールにおいて、新任町内会長三十四名の参加を得て開催。「町内会の役割や各種助成制度等についての研修」と太白区三者委員会(区連協・社協・民児協)のまとめた地震が来る前に「」の講話を行いました。

△全体会

六月十八日・七月十六日・九月二十二日・十一月二十七日に開催。事業の実施内容について議論するほか「新総合計画・区別計画の策定について、各地域の実情と課題など活発な意見交換を行いました。

△移動研修会

十月二十七日、秋保において開催。「指定避難所の立ち上げと運営」について、太白

区社会福祉協議会事務局長の講話と「学校との話し合い」の取り組み事例を通して、今後の進め方について活発な情報交換が行われました。

《山田鉤取地域町内会連合会》

会員同士の融和とふれあいのまちづくり

会長 鈴木 公至

山田鉤取地域町内会連合会は、太白区の北西に位置し、十二の単位町内会、約三千四百世帯により構成されています。地域には「山田上ノ台遺跡」があり約四千年前の縄文時代中期には集落が営まれていました。そこでは様々な遺構や土器・石器が発掘され、竪穴住居が復元されるなど古代ロマンの溢れる街です。連合会には住民の交流を促進するため数多くの催事が企画されており、中には今年度三十四回目を迎えた二つの催

しがあります。一つは、上野山コミュニティセンター運営委員会を中心に各町内会や利用団体などの協力による「上野山市民まつり」です。日頃、鍛えた芸術・演芸等の発表と即売会など盛大に開催されました。二つ目は、上野山体育振興会が中心の「上野山学区民運動会」です。上野山小学校も加わり、町内会対抗として盛況に開催されました。

このほかにも「山田市民センターふれあいまつり」「町内会」などの「夏祭り」や「敬老会」などが開催され、会員相互のコミュニケーションの強化を図っています。これらの催しで住民には大きな楽しみでもあり「ふれあいの場」として幅広く活用されています。

町内会の中には、想定される災害に備えて会員が一体となり定期的に訓練を行っている町内会もあるものの、一方、まだ確立されてない町内会もみられます。自主防災組織の「基盤づくり」を重要な課題として一人ひとりに自覚して頂くよう働きかけていきたいと思えます。秋保は、活力ある長寿社会、安全・安心な生活の出来る明るいまちづくりの実現に向け、「地域住民に「ふれあいの場」を提供するとともに、会員の定期的な意見交換により情報の共有を図り、更なる

地域の活性化、福祉の向上を目指して、会員一同これからも努力してまいります。

《湯元学区連合町内会》

地域の絆

会長 庄田 敏明

秋保町は、太白区の最西端で名取川上流に位置し、带状に約二十四キロにわたって形成され、旧石器時代の石器の出土や、史跡、神社、仏寺城館などが各所に分布しています。また、古来より有馬温泉、道後温泉と共に、日本三名湯の一つ「名取の御湯」と称される秋保湯泉があり、四季を通して多くの人々が、観光に訪れる歴史と自然、景勝に恵まれた地域です。

湯元地区連合町内会は、秋保地区三連合町内会の一つで、五つの単位町内会が組織され、人口は約二千二百人、町内会加入世帯は六百八十一世帯です。主な事業は、年三回実施の「町内一斉清掃や、秋保総合支所と太白消防署秋保出張所の協力を得て実施される「総合防災訓練」、秋保市民センターと共催の「座談会・出前講座」などを計画、実施しています。

地域コミュニティの希薄化

が問題視される昨今、当地域も例外ではありません。昔から種々の議会や町事のため「組」が継承されてきましたが、少しずつ風化の兆しが見受けられ、共同体意識が希薄になりつつあることに危機の念を抱いております。

一方、明るい話題としては、二十一年九月「秋保の田植踊り」がユネスコに世界の無形文化遺産として登録されました。これは素晴らしい快挙であり、今までも努力された多くの方々へ深く感謝しているところです。湯元小学校では、この「田植踊り」を授業に採り入れ、秋保町の担い手である子供たちに「郷土を考える教育」を実践していることは、非常に心強く、大いに期待しています。

今後は、各事業の一層の充実を計るとともに、地域住民が課題を共有して克服の鍵を見いだし、良いところは強化継続することで、地域の絆が一層深まり、更に生き生きとした地域となるよう努力してまいります。



湯元地区総合防災訓練打合せ会

泉区連合町内会長協議会

平成二十二年度活動状況

△総会

五月十四日、高橋泉区長を来賓に迎え泉区役所で開催。平成二十一年度事業報告・収支決算報告、平成二十二年事業計画案・収支予算案が原案どおり承認されました。

△新任単位町内会役員研修会

六月十八日開催。当協議会の樋口修夫会長を講師に、町内会の運営等について研修し、続いて「町内会活動の手引き」をもとに助成制度等について研修しました。

△単位町内会長研修会

八月二十九日・三十日作並にて開催。泉ビレッジ館連合町内会の小金澤佳史会長を講師に、地域住民主体のまちづくりについて研修しました。

△泉区退出の市議・県議との懇談会

九月十日開催。議員の方々との意見交換を行いました。

△連合町内会長研修会

十月十四日・十五日山形県金山町を訪問。地域ぐるみで行うまちづくりの取り組みなどについて研修しました。

《高森東 連合町内会》

高齢化に負けないまちづくり

会長 傳野 貞雄

私共の連合町内会は、五町内約千九百世帯の比較的小規模な地域となっており、地域一体となつての行事・催し物が盛んでないかと自負しております。

連合町内会で行う夏祭りや「どんと祭」、防災訓練といったものばかりではなく、地区社協の活動では高齢者支援活動としてのボランティア「もくれん」や子育て支援の「びよまマクラブ」、公園愛護協力会メンバーによる東公園湖面での「鯉のぼりの吹き流し」や、送り盆の夜の「灯籠流し」や「納涼ビアパーティ」など様々な活動が行われています。

ただ、他の地域と同じようにこの地域の高齢化も目立ち

はじめ、今迄以上に高齢化の中で、住みよく、安全・安心のものづくりが求められるようになってきている事も確かです。実際問題として地域内の商業施設店舗が撤退を余儀なくされるなど、地区の高齢者にとつての楽しみが一つ奪われるような事態が起こっています。こうした問題は従来の町内会活動の延長線上だけでは対応しきれないもので、これ以外にもそのような課題が幾つか出てくるものと思われ、地域が抱える重要な課題として何らかの取組を検討すべきものかと思われ

ます。将来のそうした事態を予測できる現在、町内会の役員として考えるべきは人材の発掘であり、活用ではないかと、思っております。幸い、どの地域であれ団塊の世代が退職し、地域に戻る時代でもあります。この世代のパワーを地域の課題解決に役立ててもらえる体制づくりが最も重要で



夏祭り「すずめ踊り」

はないかと考えられます。

試行錯誤の繰り返しになるものと思われ、現状に満足すると思わず活力ある地域であり続けられるよう、連合町内会としての取組を行っていきいたいと考えております。

《黒松 連合町内会》

地域住民の更なる絆を求めて

会長 小川 勇二

私達の住む黒松団地は、秀峰泉ヶ岳を朝夕に望む環境に位置し、現在連合町内会六町内会二千二百三十一世帯の会員数を持つ、落ち着いた静かな町であります。

昭和三十七年十月、八乙女山を黒松造成団地として、泉の公営モデル団地に指定されました。昭和三十四年に計画され、戦後の住宅不足解消の一端として、家を持たない庶民のための公営モデル団地、全県下で初めてのブロック住宅などの特色をもった団地でありました。

第一回の団地分譲当時、泉町住民七十七世帯で、飯町内会（黒松寿町内会）設立総会を開催する運びになり、今後の課題として、土地価格、水質改善、黒松団地内へのバス

乗り入れ等、十四項目の要望を市等へ提出しました。道路の整備を最優先とし、保育所、児童館、老人憩いの家を建設するなど、児童・老人の福祉の道を歩いてきた数年でありました。

その後逐次建築が進み、団地内の世帯数も順調に増加し、昭和四十年九月二十三日、ここに連合町内会合同運動会を開催することが出来ました。この道のりは、五十年の歩みの中で特記すべき事項であります。十四項目の要望事項はすべて解決され、当時の思い出し、後世に語り継がれることと思われ

ます。今後も次の事柄について、引き続き地道に努力してまいります。

①地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する
②黒松地区社協との連携を密にし、地域社会福祉の充実を図る
③単位町内会及び地域諸団体との活性化を推進する



夏祭り

仙台市連合町内会長会だよりはホームページ <http://www.sendai-sirentyokai.com> でもご覧いただけます。